

2024 年度 看護師特定行為研修

■募集要項

- 履歴書
- 受講願書
- 志望理由書
- 推薦書

CONTENTS

募集要項

I. 芳珠記念病院の看護師特定行為研修基本理念	3
II. 看護師特定行為研修の目標	3
III. 教育内容	4-5
研修方法	
研修修了要件	
研修実習設備場所	
IV. 応募要項	6-7
募集人員	
受講資格	
出願書類受付期間	
出願書類	
選考方法	
応募方法	
選考結果	
受講手続き	
V. 受講費用について	8

提出書類

■履歴書 ■受講願書 ■志望理由書 ■推薦書

I. 芳珠記念病院の看護師特定行為研修基本理念

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、医師の適切な指示に基づいた手順書による特定行為を、医療安全に配慮したうえで円滑に実践しうる能力を会得でき、かつ自己研鑽を継続できる基盤を構築することができることを目的とする。その結果、当院のみならず地域医療に貢献する地域包括ケアシステムの中で勤務する看護師を育成し、地域の急性期から在宅診療のさらなる充実に貢献できる体制づくりに寄与することができる研修を目指すものである。

II. 看護師特定行為研修の目標

【共通科目】

特定行為を実践する上で共通して必要な知識や技能を習得し、迅速かつ包括的なアセスメントを行うための、基礎的能力を養う。

【区別科目（呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連）】

多様な臨床場面において、「気管カニューレの交換」を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につけ、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

【区別科目（ろう孔管理関連）】

多様な臨床場面において、「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につけ、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

【区別科目（創傷管理関連）】

多様な臨床場面において、「褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につけ、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

【区別科目（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）】

多様な臨床場面において、「脱水症状に対する輸液による補正」を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につけ、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

【区別科目（血糖コントロールに係る薬剤投与関連）】

多様な臨床場面において、「インスリンの投与量の調整」を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につけ、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける

III. 教育内容

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行う。

1、共通科目（必須科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

各科目	講義	演習	実習	評価	合計	評価方法
臨床病態生理学	27	2		1	30	筆記試験
臨床推論	35	8	1	1	45	筆記試験、観察評価
フィジカルアセスメント	39	3	2	1	45	筆記試験、観察評価
臨床薬理学	35	9		1	45	筆記試験
疾病・臨床病態概論						筆記試験
主用疾患の臨床診断・治療 1	27	2		1	30	
状況に応じた臨床診断・治療 2	7	2		1	10	
医療安全学/特定行為実践	22	13	9	1	45	筆記試験、観察評価
合計時間	192	39	12	7	250	

2、区別科目：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

区別科目名	講義	演習	実習	評価	合計	評価方法
血糖コントロールに係る薬剤投与関連： インスリンの投与量の調整	6 7	3	5	0.5 0.5	6.5 10.5	筆記試験 観察評価
合計時間	13	3	5(件)	1	17	

3、在宅・慢性期領域/パッケージ

区分別科目名	講義	演習	実習	評価	合計	評価方法
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの関連） ：気管カニューレの交換	4 4		5	0.5 0.5	4.5 4.5	筆記試験 実技試験 観察評価
計	8			1	9	
ろう孔管理関連 ：胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	10 6		5	0.5 0.5	10.5 6.5	筆記試験 実技試験 観察評価
計	16			1	17	
創傷管理関連 ：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	12 14		5	0.5 0.5	12.5 14.5	筆記試験 実技試験 観察評価
計	26			1	27	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ：脱水症状に対する輸液による補正	6 4	1	5	0.5 0.5	6.5 5.5	筆記試験 観察評価
計	10	1		1	12	
合計時間	60	1	20(件)	4	65	

4、研修方法

- (1) 講義については e-learning を含む教材を用いて実施する。
- (2) 実習については On the job training とし、該当する病棟で医師の指示の下、特定行為を実施する。

履修方法

在宅・慢性期領域パッケージと血糖コントロールに係る薬剤投与関連を特定行為研修として受講可能とする。

区分別科目については、在宅・慢性期領域パッケージ研修の特定行為はすべての受講を必須とする。ただし、履修済の科目については履修を免除し、履修済科目以外を受講する。

5、研修修了要件

共通科目における評価（筆記試験・各種実習の観察評価）に加え、区別科目における評価（筆記試験・実技試験・各種実習の観察評価）に合格し、芳珠記念病院の特定行為研修管理委員会において最終の修了判定をもって修了とする。

6、研修期間

2024年4月1日～2025年3月31日（12か月）

7、研修・実習設備場所

芳珠記念病院 9階研修室

IV. 応募要項

1. 募集人員

3名 うち、医療法人社団和楽仁に所属するもの：2名
同法人以外の施設に所属するもの：1名

※最大受け入れ人数は3名とし、すべての科目受講者を優先とする。

3名に満たない場合のみ、1名を上限に区別科目のみの受講者を募集する。

2. 受講資格：以下の1)～4)の要件をすべて満たしていること

- 1)日本国の看護師免許を有すること
- 2)看護師としての実務経験を5年以上有すること
- 3)特定行為区分に関連した以下のいずれかの実務経験を3年以上有すること
輸液管理をする患者の看護経験
血糖・薬剤調整をする患者の看護経験
カニューレ交換をする患者の看護経験
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換をする患者の看護経験
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去をする患者の看護経験
- 4)日常的看護業務を自律的に行うことができ、かつチームのリーダーとなる能力を有していること、所属長（看護局長）または所属施設長が認めるもの

3. 出願書類受付期間

2024年1月5日（金）～1月31日（水）17時必着

4. 出願書類

受講願書、履歴書、志願理由書、推薦書（当法人所属のものについては看護局長、それ以外のものについては所属施設長）、看護師免許の写し

5. 選考方法

書類審査

6. 応募方法

上記4の出願書類一式を下記担当者宛に「簡易書留」で郵送または直接持参する事

※「看護師特定行為研修 受講願書在中」と記載。

【宛先】923-1226

石川県能美市緑が丘 11-71

芳珠記念病院 総務課 宛

7. 選考結果

2024年2月末日までに通知書を本人に郵送する

8. 受講手続き

- 1)合否通知の際に詳細を案内する。
- 2)受講にあたり、看護職賠償責任保険の加入は必須である。

V. 受講費用について

1、納付金

		受講費、教材費等（税込）
共通科目		275,000 円
研修費 区分別科目	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	55,000 円
	在宅・慢性期領域 パッケージ	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの関連）
		55,000 円
		ろう孔管理関連
		55,000 円
		創傷管理関連
		55,000 円
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	
	55,000 円	

2、振込先

金融機関名 北國銀行
店舗名 小松支店
口座名義人 医療法人社団 和樂仁（いりょうほうじんしゃだん わらに）
理事長 仲井 培雄（なかい ますお）
口座番号 182127

3、注意事項

- 1)振り込み手数料は振込者負担とする。
- 2)一度納めた受講料は原則として返還しない。

※個人情報の取り扱いについて

出願にあたって提供いただいた氏名、住所、その他の個人情報については、当院における書類審査、合格発表、入講手続き及び入講後の修学指導など、これらに付随する業務においてのみ利用し、それ以外の目的では利用致しません。

【問い合わせ先】

〒923-1226 石川県能美市緑が丘 11-71
TEL 0761-51-5551 FAX 0761-51-5557
芳珠記念病院 特定行為研修事務担当

実習スケジュール（予定）

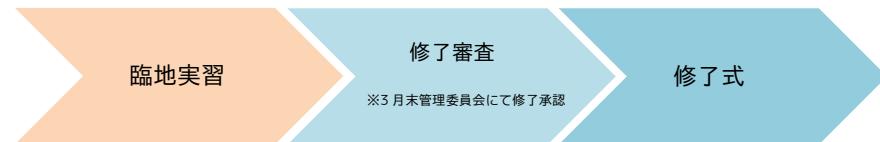
共通科目（4/1 開講：4月～9月）



区別科目（9月～11月）



実習（11月～3月） ※但し、区別科目において演習修了した区分から実習を開始可能とする



実習風景



